

2019年全日本選手権

大会

団体の部 10月18~20日 鹿児島市松元平野岡体育館



優勝直後に全員で撮影



男子優勝 東京アート

「今年目指しているグランドスラムに、また一步近づけることができうれしく思います」と大森監督



吉村和弘

吉田海偉

高木和卓

破壊力のある両ハンド攻撃で、優勝に貢献した

38歳ながら動きが良く、威力ある攻撃をみせた

決勝のトップで勝利し、チームに勢いをつけた

女子優勝 中国電力

「僕がベンチに入って初めて優勝できた大会なので、すごくうれしいです」と和田コーチ



庄司有貴

成本綾海

土田美佳

カットで粘り、甘いボールには積極的に攻撃した

前陣で変化をつけた攻撃で決勝では2点をあげ、優勝に大きく貢献した

準々決勝のデンソー戦、決勝のサンリツ戦のラストで勝利。勝負強さが光った

中国電力が3年ぶりの優勝 Women's



準優勝 サンリツ



三村優果

平侑里香

松本優希

台から下からプレーし、相手のミス誘った

バックハンドでチャンスを作り、フォアハンドで得点を重ねた

ミスが少なく、両ハンドのバランスが良かった

女子決勝は中国電力とサンリツが対戦。ラストの5番までもつれたが、中国電力が勝利し、3年ぶり3度目の優勝となった。3位には十六銀行、日立化成が入った。

準優勝 日鉄物流 ブレイザーズ

男子は東京アートと日鉄物流ブレイザーズが決勝で対戦。各試合とも接戦となるが、東京アートがストレートで勝利し、3年ぶり14度目の優勝を飾った。3位は、シチズン時計、協和キリンだった。



藤本海統

藤村友也

定松祐輔

回転量の多い両ハンド攻撃で得点を重ねた

キレのある動きが良く、大きなラリー戦も強かった

気持ちのこもったプレーで、準決勝の協和キリン戦で2点を奪った

十六銀行

BEST4

日立化成



徳永美子

安藤みなみ

近藤早紀

牛嶋星羅

粘り強くラリーし、攻撃をコーナに打ち分けた

バックハンドで緩急をつけ、フォアハンドのスマッシュで得点を重ねた

ミスが少なく、安定感のあるラリーが良かった

守備範囲が広く、カットの切れ味も鋭かった

シチズン時計

ミスが少なく、コース取りも良かった

協和キリン

BEST4

フットワークを活かし、素晴らしい攻撃をみせた



笠原弘光

酒井明日翔

上村慶哉

平野友樹

松平賢二

渡辺裕介

前陣でのボールタッチが良く、活躍した

フットワークが良く、ボールに喰らい続けた

闘志をむき出しにし、チームを活気づけた

後陣からの盛り返しもあり、ルーキーながら活躍